



## 平成 26 年度 第 3 回学校評議員会の報告

平成 27 年 2 月 24 日（火） 第 3 回の学校評議員会を開催しました。

以下にその概要をお知らせします。

### ◎ 参加者

学校評議員 6 名参加(1 名は都合で欠席)

本校職員 11 名(校長、教頭、事務長、進路指導主事、生徒指導主任、  
生徒会係、PTA 係主任、1・2・3 年学年主任)

### ◎当日の日程

16:00～17:20 各部署から本年度 1 年間の取組の様子を説明し、それに対して、評議員の方からの質疑、意見をいただきました。

学校概要説明、進路指導取組説明、生活指導取組説明、生徒会取組説明  
PTA 取組説明、1・2・3 学年取組説明、学校関係者評価の依頼

### ◎主な協議内容

- ・学力向上については、大学でも強い関心を持って取り組んでいる。その中で、クラブや生徒会活動なども含め、取り組んだことをまとめてポートフォリオとする取り組みがある。厚さにして 2～3 cm の資料となるが、検討してみたらどうか。また、模擬授業については 1 回だけでなく複数回行うことを考えたらどうか。大学としても活用してほしいと考えている。
- ・地域連携事業の取り組みは、数多くの取り組みをしていただいて、町としても感謝している。主に生徒会の生徒の活動となっているが、一般の生徒の参加がもっと増えると良いのではないかと。
- ・最近問題になっている、携帯電話や SNS 等の指導についてはどうなっているかというご質問があり、4 月に外部講師を招いて、携帯電話や SNS の利用について厳しい話をさせていただいている、また、HR など機会あるごとに注意を喚起している、県の施策のネットパトロールでは、ツイッターやフェイスブックその他サイバー空間に、生徒の個人情報などが流出していないか点検する活動をしているとお答えした。
- ・介護の道に進む生徒が昨年に比べて少ないようであるが、どうかのご質問があり、福祉関係への進学者は一定数いるので、介護が少ないのはたまたまであろう。また、大学で専門的に学んでから介護の道へ進むことも十分あることである。今後とも介護の仕事は増えるであろうから、生徒の進路の選択肢として十分考えていく必要があるというような話がなされた。